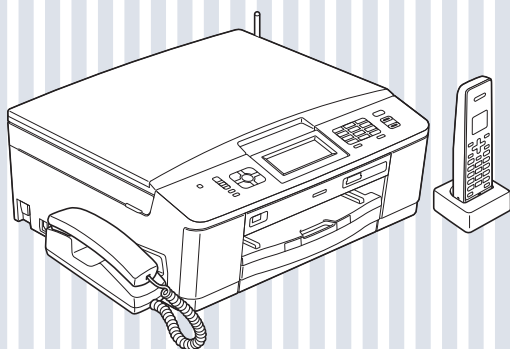
brother

DCP-J540N/J740N MFC-J710D/J710DW

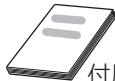
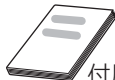
ユーザーズガイド
－応用編－

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編 「こんなときは」で調べる

2 サポート ブラザー 検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

Version A JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子）

本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。

2. かんたん設置ガイド（冊子）

お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子）

本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式）

基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。

5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式）

本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。

6. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式）*

ネットワークに関する基礎的な情報を記載しています。

7. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式）*

本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。

CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた⇒ユーザーズガイド基本編「CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは」

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

画面で見るマニュアル（HTML 形式）

上記のうち、3 ～ 7 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。

モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式）*

Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。

Google クラウドプリントガイド（PDF 形式）*

本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。

AirPrint ガイド（PDF 形式）*

パソコンを介さずに、iOS を搭載した携帯端末からデータを直接印刷する方法を説明しています。

http://solutions.brother.co.jp/

* DCP-J540N/J740N のみ

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

目次

第７章　デジカメプリント（DCP-J740N、MFC-J710D/J710DW のみ） ...59

デジカメプリント

付　録 63

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

確認	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

確認

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は DCP-J540N、DCP-J740N、MFC-J710D、MFC-J710DW を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J710D のイラストを使用しています。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は､本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、ユーザーズガイド 基本編「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

第 1 章

お好みで設定する

お好みで設定してください

表示言語を設定する（DCP モデルのみ） お好みで設定してください

画面に表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【表示言語設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【日本語】または【英語】を選ぶ

3 停止／終了 を押して設定を終了する

英語による説明を以下に示します。
This setting allows you to change LCD language to English.

1. Press 【メニュー】, and press 【∨】 or 【∧】 to choose 【初期設定】.
   Press 【表示言語設定】.
2. Press 【英語】.
3. Press 停止／終了.

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

画面設定を変更する

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【画面の設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

画面の設定画面が表示されます。

2 変更したい項目を選ぶ

- 【画面のコントラスト】
  画面のコントラストを調整します。
- 【画面の明るさ】
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

3 目的の設定を選ぶ

- 画面のコントラスト
  【◀】を押すと強くなり、【▶】を押すと弱くなります。
- 画面の明るさ
  【明るく／標準／暗く】から選びます。
  ⇒手順 5 へ
- 照明ダウンタイマー
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】から選びます。⇒手順 5 へ

4 【OK】を押す

5 停止/終了 を押して設定を終了する

子機の画面設定を変更する（MFC モデルのみ）

1 機能/確定 を押す

2 ✥で【ガメンノコントラスト】を選び、機能/確定 を押す

3 ✥で好みのコントラストを選び、機能/確定 を押す

4 切 を押して設定を終了する

ファクスモードに戻る時間を設定する（MFC モデルのみ）

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。【切】を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【モードタイマー】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

モードタイマー設定画面が表示されます。

2 ファクスモードに戻る時間を選ぶ

【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

【0 秒】を選んだ場合は、各モードでの操作が完了すると、すぐにファクスモードに戻ります。

設定が有効になります。

3 停止／終了を押して設定を終了する

ファクス自動再ダイヤル有無を設定する（MFC モデルのみ）

相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ファクス自動再ダイヤル】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

ファクス自動再ダイヤル設定画面が表示されます。

2 【する】または【しない】を選ぶ

- 【する】：
  相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、自動で再ダイヤルを行います。
- 【しない】：
  自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。

設定が有効になります。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

着信音と保留音を設定する（MFC モデルのみ）

電話やファクスを受信したときの着信音と保留音を設定します。本製品には、あらかじめ 4 種類のベル音と 30 曲のメロディが登録されています。お買い上げ時は、着信音は【ベル 1】、保留音は【花のワルツ】に設定されています。

確認

- 着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器を上げていると設定できません。）
- 呼出回数を 0 回に設定していると、メロディに設定していても、回線が再呼出に切り替わりベル音が鳴るため、メロディが聞こえません。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「呼出回数を設定する」

親機の着信音・保留音を選ぶ

4 種類のベル音と下記のメロディを着信音や保留音として設定できます。

	曲名		曲名
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌（交響曲第 9 番）	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデイ
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷（ふるさと）
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【メロディ設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【着信音】または【保留メロディ】を選ぶ

3 メロディを選び、【OK】を押す

現在選択されているメロディが流れます。
【OK】を押すとメロディが止まります。

ベル音は保留メロディには設定できません。

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

構内交換機、ターミナルアダプター、ADSL モデムなどに接続している場合、それらの機器の着信音選択を【ベル 2】または【SIR】に設定しているときは、本製品で【ベル 1】に設定しても、メニュー選択時に聞こえる【ベル 1】の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

再呼出音をメロディにすることはできません。

相手先ごとに着信音を変える

ナンバー･ディスプレイサービスを契約しているときは相手先ごとに着信音を設定できます。
⇒ 17 ページ「着信鳴り分けを設定する」

子機の着信音を選ぶ

1 種類のベル音と下記のメロディを着信音として設定できます。

	曲名
1	アヴェ・マリア
2	オオキナフルドケイ
3	ガボット
4	キラキラボシ
5	シキヨリ［ハル］
6	ハナノワルツ

1 機能確定を押す

2 【メイドウオンセッテイ】が選択されていることを確認し、機能確定を押す

3 【1. チャクシンオン】が選択されていることを確認し、機能確定を押す

現在選択されているメロディが流れます。

4 ✣で着信音を選び、機能確定を押す

5 切を押して設定を終了する

第２章

電話
（MFC モデルのみ）

オプションサービス

お好みで設定する
電話
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
デジカメプリント
付　録

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する オプションサービス

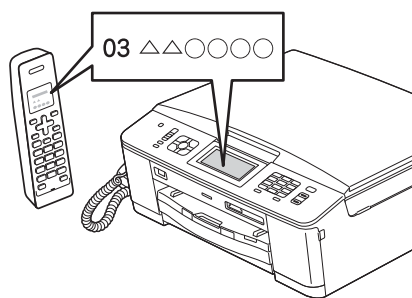
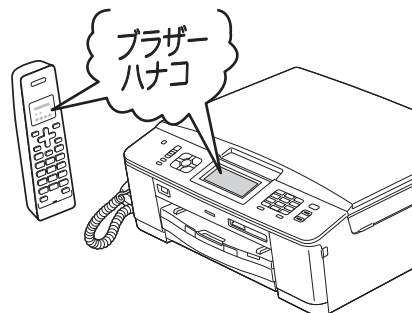
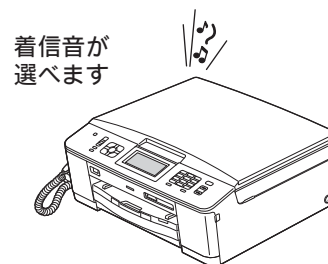
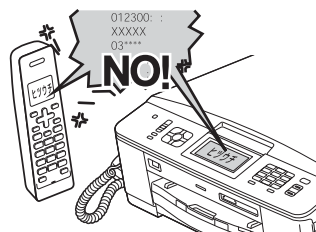
本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する、電話会社のサービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

確認

- 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】に設定してください。
- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。

電話番号表示機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。

名前表示機能
電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が画面に表示されます。

着信音鳴り分け機能（親機のみ）
電話番号ごとに着信音を指定できます。
また、迷惑指定にして、特定の番号からかかってきても、着信音を鳴らさないこともできます。

迷惑電話防止 / 非通知着信拒否 / 公衆電話拒否機能 / 表示圏外拒否機能 迷惑電話などの受けたくない電話がかかってきたときに、着信音が鳴らないように設定できます。 また、相手の電話番号が非通知、または公衆電話、表示圏外の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。 ※ISDN 回線でご利用のターミナルアダプターによっては、着信を拒否できない場合があります。 	**着信履歴機能** 電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（着信履歴は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。）記録した電話番号は次のように活用できます。 • 画面に表示する •「着信履歴」として印刷する（子機からは印刷できません） • 電話帳に登録する • 記録した電話番号にファクスを送る / 電話をかける

ナンバー・ディスプレイサービスを設定する

［ナンバーディスプレイ］

電話会社とのご契約後、ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは【あり】に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは【なし】に設定します。
お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ【あり】に設定されています。

確認

■「ナンバー・ディスプレイ」をご利用いただくためには、電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約していない場合は【なし】にしてください。
■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイ」の設定を【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【あり】または【なし】を選ぶ

- 【あり】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できます。（別途、電話会社との契約が必要です）。
- 【なし】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できなくなります。

【あり】に設定しているときは、【着信鳴り分け設定】【非通知着信拒否】【公衆電話拒否】【表示圏外拒否】【着信拒否モニター】【キャッチディスプレイ（別途、電話会社との契約が必要です）】などの設定ができます。また、「着信履歴」を表示したり、「着信履歴リスト」を印刷できます。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。

● その他の表示例

- 【非通知】
  相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- 【公衆電話】
  公衆電話からかけてきたとき
- 【表示圏外】
  相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、着信回数を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示できないことがあります。

着信鳴り分けを設定する

［着信鳴り分け設定］

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、かけてきた相手によって着信音を変えたり、着信音を鳴らす電話機（着信先）を指定したりすることができます。

電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【あり】を押す

3 【着信鳴り分け設定】を押す

4 着信音を鳴り分けさせたい電話番号を選ぶ

| ※01 | あ | を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
| ※01 | あ | のときは五十音順に、
| ※01 | あ | のときは短縮番号順に並べ替えられます。

5 着信鳴り分け設定を選ぶ

設定は【ファクス／迷惑指定／電話】から選びます。

- 【ファクス】
  着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 【迷惑指定】
  親機と子機の着信音が鳴りません。
  ⇒ 18 ページ「迷惑電話を防止する」
- 【電話】
  設定した着信音で親機が鳴ります。

【電話】を選んだ場合⇒手順 6 へ

【ファクス】【迷惑指定】を選んだ場合⇒手順 7 へ

6 着信音を選び、【OK】を押す

⇒ 10 ページ「親機の着信音・保留音を選ぶ」

7 停止／終了 を押して設定を終了する

電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 機能確定 を押し、✥で「メイドウオン セッテイ」を選び、機能確定 を押す

2 ✥で「2. チャクシンナリワケ」を選び、機能確定 を押す

着信音を選ぶ画面が表示されます。

3 ✥で着信音を選び、機能確定 を押す

⇒ 11 ページ「子機の着信音を選ぶ」

4 切 を押す

子機では、電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。

子機の電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

ナンバー・ディスプレイの利用方法（親機のみ）

迷惑電話を防止する

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（17 ページ）の手順 ❸ までを行う
(2) 着信音を鳴らしたくない電話番号を選ぶ
(3) 【迷惑指定】を押す
(4) 停止 / 終了 を押す

- 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。
- 親機を【迷惑指定】に設定すると、子機も着信音が鳴りません。

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（17 ページ）の手順 ❷ までを行う
(2) 【非通知着信拒否】または【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を選ぶ
(3) 【する】を押す
(4) 停止 / 終了 を押す

- 番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。
⇒ 18 ページ「着信拒否モニターを設定する」
- ファクスは受信しません。

着信拒否モニターを設定する

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、非通知着信拒否または公衆電話拒否、表示圏外拒否のときの着信拒否メッセージを本製品のスピーカーから聞くことができます。

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（17 ページ）の手順 ❷ までを行う
(2) 【着信拒否モニター】を押す
(3) 【する】を押す
(4) 停止 / 終了 を押す

- スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器をとると、電話に出ることができます。

着信履歴を利用する

［着信履歴］

確認

■ ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。親機には、着信日時のみ表示されます。子機には、「チャクシンリレキ　ナシ」と表示されます。

着信履歴を見る

親機の場合

(1) 再ダイヤル/履歴 を押す

(2) を押す

◆最新の着信履歴が表示されます。

子機の場合

(1) キャッチ 着信履歴 を押す

◆着信履歴が表示されます。

着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「最近かかってきた相手にかける （着信履歴）」
⇒ 36 ページ「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」

着信履歴を印刷する（親機のみ）

(1) 記録紙をセットする

(2) 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

(3) モノクロ スタート を押す

◆着信履歴が印刷されます。

(4) 停止／終了 を押す

着信履歴を削除する（親機）

(1) 再ダイヤル/履歴 を押す

(2) を押す

◆最新の着信履歴が表示されます。

(3) 削除したい着信履歴を選ぶ

(4)【設定】を押す

(5)【消去】を押す

◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(6)【はい】を押す

◆指定した着信履歴を削除し、一つ前の（より古い）着信履歴が繰り上がって表示されます。

(7) 停止／終了 を押す

※親機で削除した履歴は子機には反映されません。

履歴を削除する（子機）

1 件のみ削除する場合

(1) 機能/確定 を押し、十字キー で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、機能/確定 を押す

(2) 十字キー で削除したい履歴を選び、機能/確定 を押す

(3) 十字キー で「1 ケン　ショウキョ」を選び、機能/確定 を押す

(4) 1ア を押す

◆選択した履歴が削除されます。

(5) 切 を押す

◆操作を終了します。

すべての履歴を削除する場合

(1) 機能/確定 を押し、十字キー で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、機能/確定 を押す

(2) 機能/確定 を押す

(3) 十字キー で「ゼンケン　ショウキョ」を選び、機能/確定 を押す

(4) 1ア を押す

◆子機の着信履歴または発信履歴がすべて削除されます。

※子機で削除した履歴は親機には反映されません。

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、電話会社のサービスです。
サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、【なし】に設定されています。

確認

- 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示されません。「キャッチホン・ディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」(⇒ユーザーズガイド基本編「キャッチホンサービスを利用する」) と、「ナンバー・ディスプレイサービス」(⇒ 14 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」) の両方を、ご利用の電話会社と契約していただく必要があります。(有料)
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- 構内交換機 (PBX) に接続しているときは、キャッチディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続 (並列接続) をすると、キャッチディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホンが入ると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。
- 子機のキャッチディスプレイの表示は、約 10 秒です。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【ナンバーディスプレイ】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【あり】を押す

3 【⮌】を押す

4 【キャッチディスプレイ】を押す

5 【あり】または【なし】を選ぶ

- 【あり】:
  キャッチホン・ディスプレイが設定されます。
- 【なし】:
  キャッチホン・ディスプレイは設定されません。

6 停止/終了 を押して設定を終了する

お好みで設定する
電話
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
デジカメプリント
付録

第３章

ファクス
(MFC モデルのみ)

応用

通信管理

ファクスの便利な送りかた

応用

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

確認

■ ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 14 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 待ち受け画面の【履歴】、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【履歴】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

再ダイヤル/履歴 を押しても履歴を表示できます。

3 または を押す

4 ファクスを送る相手先を選ぶ

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送る場合は モノクロスタート を、カラーで送る場合は カラースタート を押す

ファクスが送られます。

発信履歴や着信履歴を削除する

(1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」の手順 2、3 の操作を行う

(2) 削除する相手先を選ぶ

(3) 【設定】を押す

(4) 【消去】を押す
◆【消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す
◆選んだ番号が消去されます。

(6) 停止 / 終了 を押す

※親機で削除した履歴は子機には反映されません。

相手先の受信音を確認してから送る

[手動送信]

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

確認

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 オンフック を押したあと、相手のファクス番号をダイヤルする

4 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、モノクロスタート または スタートカラー を押す

画面に【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

(1) **【送信中】表示中に 停止／終了 を押す**
◆【キャンセル／はい／いいえ】と表示されます。

(2) **【はい】を押す**
◆ファクスの送信が中止されます。

話をしてから送る

[手動送信]

相手と話をして、ファクスを送ることを伝えてから送ります。

確認

■「手動送信」の場合、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 相手先に電話をかける

⇒ユーザーズガイド 基本編「電話をかける」

2 相手と通話してファクスを送ることを伝え、相手側のファクス機のスタートボタンを押してもらう

相手先のファクスが応答すると「ピー」という音が聞こえます。

3 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

4 モノクロスタート または スタートカラー を押す

画面に【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

6 受話器を受話器台に戻す

送るのをやめるときは

(1) **【送信中】表示中に 停止／終了 を押す**

◆【キャンセル／はい／いいえ】と表示されます。

(2) **【はい】を押す**

◆ファクスの送信が中止されます。

原稿をすぐに送る

［リアルタイム送信］

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「変更した設定を保持する」

確認

- リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
- リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【リアルタイム送信】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 【する】を押す

- 【する】：
  リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
  通常の送信で送ります。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

6 【↩】を押す

7 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

海外へ送る

［海外送信モード］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

2 ファクスを押す

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 【する】を押す

6 【↩】を押す

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「画質や濃度を変更する」

7 相手先のファクス番号をダイヤルする

8 モノクロスタートまたはスタートカラーを押す

モノクロスタートを押した場合：画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ（送信)】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 10 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

スタートカラーを押した場合：画面に【カラーファクスを1枚のみ送信します　複数枚送信のときは［いいえ］を選びモノクロスタートを押してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。
カラーで送る場合⇒手順 10 へ
モノクロで送る場合⇒【いいえ】を押して手順 8 に戻ります。

9 【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

10 モノクロで送るときは【いいえ（送信)】を、カラーで送るときは【はい（カラー送信)】を押す

ファクスが送られます。

ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

[自動縮小]

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【する】を押す

- 【する】:
  自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】:
  自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のままで複数枚の記録紙に分割して印刷します。

ファクスを転送する

［ファクス転送］

受信したファクスを別のファクス機に転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

確認

- 【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- 【ファクス転送】を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- 【ファクス転送】は、【メモリ保持のみ】、【PC ファクス受信】と同時に設定できません。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】、【ファクス転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号を入力し、【OK】を押す

すでに転送先のファクス番号が登録されているときは、登録済みのファクス番号が表示されます。
転送先のファクス番号を変更する場合は ⌫ を押して登録済みの番号を消去してから、入力し直します。

3 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

転送先のファクス機が通話中のときは、自動的に 5 分おきに 3 回まで再ダイヤルされます。

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

受信したファクスをパソコンに送る

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

確認

- ■ カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- ■【PC ファクス受信】は、【ファクス転送】、【メモリ保持のみ】と同時に設定できません。
- ■【PC ファクス受信】は Windows® でのみ使用できます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」
- 手順 2 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。
- 手順 2 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

通信状態を確かめる

通信管理

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

確認

■ 通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

通信記録をすぐに確認したいとき

定期的に印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタート を押す

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

4 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

出力間隔を変更する

1 画面上の【メニュー】、【ファクス/電話】、【レポート設定】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 印刷間隔を選ぶ

【レポート出力しない/ 50 件ごと/ 6 時間ごと/ 12 時間ごと/ 24 時間ごと/ 2 日ごと/ 7 日ごと】から選びます。

A)【レポート出力しない /50 件ごと】を選んだ場合

(1) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

B)【6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと】を選んだ場合

(1) 印刷時間を入力し、【OK】を押す

(2) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

C)【7 日ごと】を選んだ場合

(1) 印刷時間を入力し、【OK】を押す

(2) 曜日を選ぶ

(3) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

確認

■ 送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

すぐに印刷する

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタートを押す

送信レポートが印刷されます。

4 印刷が終了したら、停止/終了を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 設定を選ぶ

- 【オン】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 【オン+イメージ】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
- 【オフ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 【オフ+イメージ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。

リアルタイム送信（⇒ 27 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

カラーで送信した場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。

3 停止/終了を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

［着信履歴リスト］

着信履歴を印刷します。

確認

■ 着信履歴リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 モノクロスタートを押す

着信履歴リストが印刷されます。

4 印刷が終了したら、停止/終了を押す

第 4 章

電話帳
(MFC モデルのみ)

電話帳

リモートセットアップ

電話帳を利用する

電話帳

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示される発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 34 ページ「着信履歴リストを印刷する」

確認

- ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 待ち受け画面の【履歴】、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【履歴】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

最新の履歴が表示されます。

- 履歴は最新の 30 件が記録されています。
- 再ダイヤル/履歴 を押しても履歴を表示できます。

2 [発信履歴] または [着信履歴] を押す

3 電話帳に登録したい番号を選ぶ

4 【設定】を押す

5 【電話帳登録】を押す

名前の画面が表示されます。

6 画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

7 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

8 番号が入力されていることを確認して、【OK】を押す

変更したい場合は、画面に表示されているテンキーで変更します。

9 画面に表示されているテンキーで、2つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す

2 つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

10 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、【OK】を押す

短縮番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

11 登録内容を確認し、【OK】を押す

12 停止／終了 を押す

選択した番号が電話帳に登録されます。

グループダイヤルを登録する

[グループ登録]

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ユーザーズガイド 基本編「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

確認

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳リストを印刷する」

1 待ち受け画面の【電話帳】、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳】を押す

画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【電話帳 / 短縮設定】の順に押しても登録できます。⇒手順 4 へ

2 【あいうえお順検索】または【番号順検索】を押す

3 【設定】を押す

4 【グループ登録】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

グループ名を入力する画面が表示されます。

5 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」

6 画面に表示されているテンキーでグループ番号を入力し、【OK】を押す

グループ番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

7 グループに登録する相手先を選ぶ

[¥01 | あ] を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
[¥01 | あ] のときは五十音順に、
[¥01 | あ] のときは短縮番号順に並べ替えられます。

8 登録する番号をすべて選んだら、【OK】を押す

9 登録内容を確認し、【OK】を押す

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

10 停止 / 終了 を押す

グループダイヤルに登録されている相手先を変更するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 4 で、【変更】を押す

(2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ

(3) 【変更】を押す

(4) 追加 / 削除する相手先を選び、【OK】を押す

追加したい相手を押してチェックマークをつけます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。

(5) 【OK】を押す

◆変更内容が反映されます。

(6) 停止 / 終了 を押す

グループダイヤルを削除するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 4 で、【消去】を押す

(2) 削除するグループダイヤルを選び、【OK】を押す

【消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

(4) 停止 / 終了 を押す

子機の電話帳を利用する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

確認

■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、着信履歴は使えません。

1 機能確定を押す

2 で「ハッシンリレキ」または「チャクシンリレキ」を選び、機能確定を押す

3 で登録する番号を選び、機能確定を押す

4 で「デンワチョウトウロク」を選び、機能確定を押す

5 名前を入力し、機能確定を押す

11 文字まで入力できます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 「文字の入力方法」－「子機」

登録したい番号が表示されます。

6 機能確定を押す

電話番号が登録されます。

7 切を押す

発信履歴から登録した場合は、自動的に待ち受け画面に戻るため、切を押す必要はありません。

子機の電話帳を親機へ転送する

1 を押す

2 で親機に転送する相手先を選び、機能確定を押す

3 で【テンソウ】を選び、機能確定を押す

電話帳が転送されます。

4 切を押す

親機の登録名の最大文字数は 10 文字です。子機の登録名が 11 文字の場合、11 文字目の文字は消去されます。

例) 子機の登録名：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻ

↓

親機の登録名：アイウエオカキクケコ

（「サ」は消去される）

親機のヨミガナは、子機の登録名 11 文字すべてが登録されます。

短縮番号は指定できません。空いている短縮番号の一番小さい番号へ登録されます。

以下の場合は、電話帳を転送できません。

- 外線使用中
- 親子内線通話中、呼び出し中
- 親機の電源オフ中
- 親機で音声設定中
- 子機で【オヤキ　ショウチュウ】表示中
- 親機の電話帳が最大件数登録済みの場合
- 親機のメニュー操作中

パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

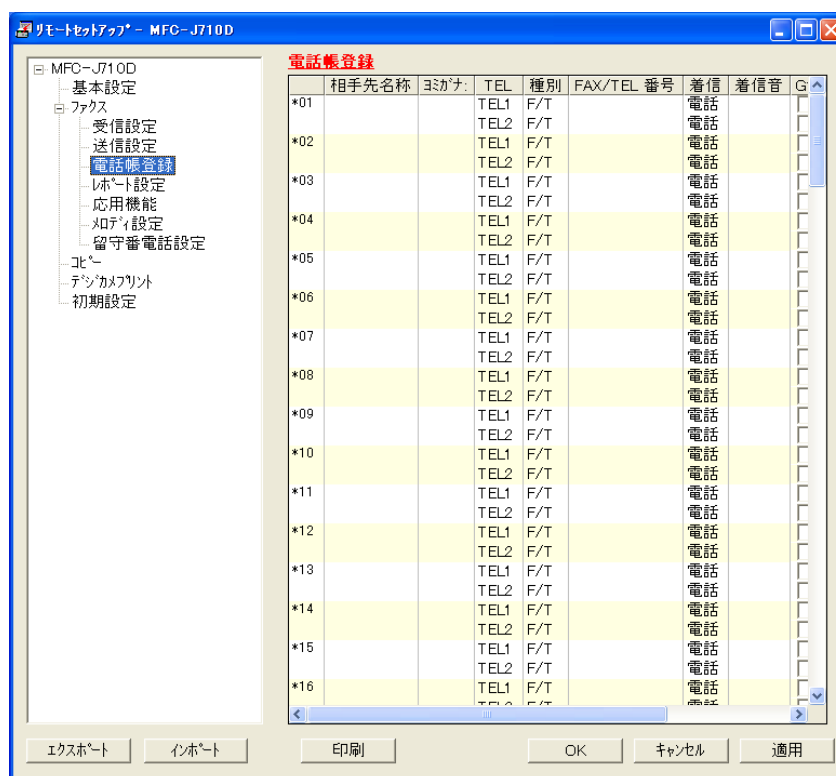
パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは下記をご覧ください。

Windows® の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」

Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

リモートセットアップ画面例

確認

■「リモートセットアップ」を使用してパソコンから登録 / 編集できるのは、親機の電話帳のみです。子機の電話帳には登録できません。

第 5 章

転送・リモコン機能（MFC モデルのみ）

リモコンアクセス

転送機能

外出先から本製品を操作する リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

確認

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、【OK】を押す

「＊」の左側の 3 桁に、【0】～【9】、【＊】、【#】からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

暗証番号「123」の場合は、【1】、【2】、【3】を押し、【OK】を押します。

暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

暗証番号を削除するときは

(1) 「暗証番号を設定する」の手順 1 の操作を行う

(2) 【×】を押す

(3) 【OK】を押す

◆暗証番号が削除されます。

(4) 停止 / 終了 を押す

外出先から本製品を操作する

確認

■ リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
⇒ 44 ページ「暗証番号を設定する」

■ ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

■ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

■ 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

外出先からの操作

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。在宅モードでも操作できます。

1 外出先から本製品に電話する

本製品の応答メッセージが再生されます。

在宅モードで呼出回数を【無制限】に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。この場合は、「ピー」という音が鳴るのみで、応答メッセージは再生されません。

2 「#」、「＊」を押す

「暗証番号を入れてください」というメッセージが再生されます。

3 暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。
- 「ポー」：
  ファクスメッセージが記憶されています。
- 「ポーポー」：
  音声メッセージが記憶されています。
- 「ポーポーポー」：
  ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。

4 リモコンコードを入力する

⇒ 46 ページ「リモコンコード」

例）録音されている音声メッセージを再生するときは「9」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「リモコンアクセスカード」

5 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。
正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

リモコンコード

コード	操作内容	
音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に「1」：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で「1」：前のメッセージを再生 再生中に「2」：次のメッセージを再生 再生中に「9」：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
設定		
951	【メモリ受信】を【オフ】にする（ファクス転送の設定も解除されます） ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する（転送先の番号が登録されていないときは設定できません）	
954	ファクス転送先を設定する	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。
956	【メモリ受信】を有効にする（【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります）	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く
971	ファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
972	音声メッセージが記憶されているか確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。

⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスをメモリーで受信する」

外出先に転送する

転送機能

留守録転送を設定する

[留守録転送]

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送できます。

確認

- 留守モードのときのみ転送できます。
- 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。
  ⇒ 44 ページ「暗証番号を設定する」
- 通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
- NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープは、留守モードに設定されている / いないにかかわらず、かかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。
- 転送先の電話が話し中のときは、10 分おきに 5 回まで再ダイヤルされます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【留守録転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

2 【する】を押す

暗証番号が設定されていないときは、【暗証番号を登録してください】と表示されます。[停止 / 終了] を押していったん留守録転送設定を中止し、暗証番号を設定してください。
⇒ 44 ページ「暗証番号を設定する」

転送先の電話番号がすでに登録されているときは、登録済みの電話番号が表示されます。
電話番号を変更する場合は、[⌫] を押します。⇒手順 3 へ
電話番号を変更しない場合は、【OK】を押します。⇒手順 4 へ

3 画面に表示されているテンキーで転送先の電話番号を入力し、【OK】を押す

4 [停止 / 終了] を押して設定を終了する

転送先で確認する

(1) 電話を受けたあと、音声ガイダンスに従って暗証番号を入力する

(2) メッセージを聞く
◆2 件以上あるときは連続して再生されます。
◆再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

(1) 「留守録転送を設定する」の手順 2 で【しない】を押す

(2) [停止 / 終了] を押す
◆留守録転送が解除されます。

第 6 章

コピー

応用

いろいろなコピー

応用

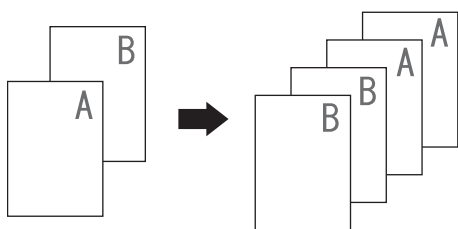
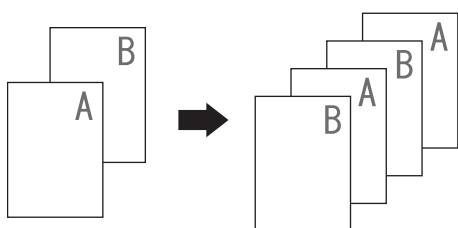
スタック / ソートコピーする（DCP-J740N のみ）

［スタック / ソートコピー］

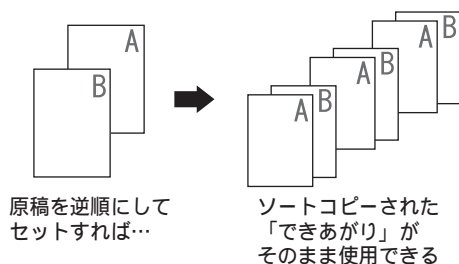
複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

確認

■ スタック / ソートコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

- スタックコピー
  ページごとにまとめて排出します。

- ソートコピー
  一部ごとにまとめて排出します。

コピーは読み取った順に上向きで排出されるため、複数部のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。したがってソートコピー機能を使って大量の部数のコピーを作成するときは、できあがりを逆順に入れ替える手間を省くため、あらかじめ元になる原稿を逆順にしておくことをお勧めします。

原稿を逆順にして
セットすれば…

ソートコピーされた
「できあがり」が
そのまま使用できる

1 【コピー】を押す

2 ADF に原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF に原稿をセットする（DCP-J740N のみ）」

3 【+】/【−】で部数を入力する

99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、いったんコピーしたあと、残りの部数を再度設定してください。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【スタック / ソート コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選ぶ

7 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

- 原稿の読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「画面にメッセージが表示されたときは」
- メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。
- スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

レイアウトコピーする

［レイアウトコピー］

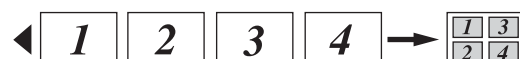
複数の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

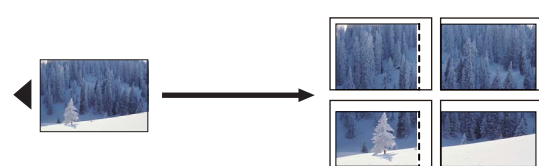
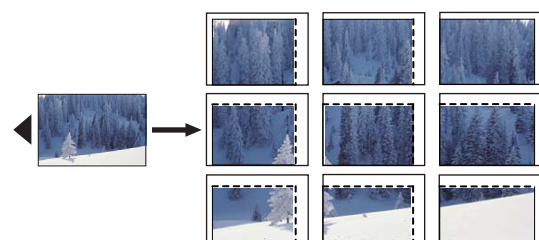
- 2in1（タテ長）

- 2in1（ヨコ長）

- 2in1（ID カード）

- 4in1（タテ長）

- 4in1（ヨコ長）

- ポスター（2 x 1）*1

- ポスター（2 x 2）*1

- ポスター（3 x 3）*1

*1 「のりしろ」の位置は、セットする原稿の向きによって異なります。

2in1（タテ長）/2in1（ヨコ長）/4in1（タテ長）/4in1（ヨコ長）

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーします。

確認

- 記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- レイアウトコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 （コピー）または【コピー】を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 レイアウトの種類を選ぶ

【2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）／4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）】から選びます。

コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

7 モノクロでコピーするときは（モノクロスタート）を、カラーでコピーするときは（カラースタート）押す

ADF（DCP-J740N のみ搭載）に原稿をセットしたときは、コピーが開始されます。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
原稿が 1 枚の場合⇒手順 9 へ
原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 【はい】を押し、次の原稿をセットして【OK】を押す

原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

9 すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してコピーを終了する

2in1(ID カード)

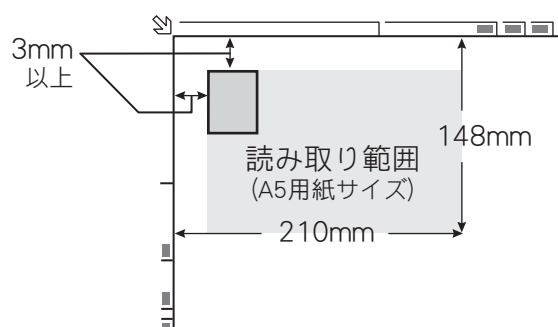
身分証明書など、カードサイズの原稿の両面を、1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーします。

確認

- 記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- レイアウトコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 （コピー）または【コピー】を押す

2 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」
原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。

3 【+】/【−】で部数を入力する

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

お好みで設定する
電話
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
デジカメプリント
付録

6 【2in1 (ID カード)】を押す

7 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは スタートカラー 押す

画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
原稿が 1 枚の場合⇒【いいえ】を押すと、記録紙が排出されます。
原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 【はい】を押し、原稿をうら返してセットして【OK】を押す

ポスター（2 x 1）/ ポスター（2 x 2）/ ポスター（3 x 3）

原稿をポスターサイズに拡大し、複数の A4 記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーは、複数部数の指定はできません。

確認

- 記録紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。
- 記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- レイアウトコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。
- あらかじめ、分割される枚数以上の記録紙をセットしてください。

1 コピー または【コピー】を押す

2 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 レイアウトの種類を選ぶ

【ポスター（2 x 1）／ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）】から選びます。

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは スタートカラー を押す

すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

両面コピーする（DCP-J740N のみ）

[両面コピー]

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。原稿は ADF から送ることをお勧めします。原稿が冊子などの場合は原稿台ガラスを使用してください。
ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

	印刷の向き：縦（タテ長原稿）	印刷の向き：横（ヨコ長原稿）
長辺とじ原稿	1 2 → 1 2	1 2 → 1 2
短辺とじ原稿	1 2 → 1 2	1 2 → 1 2

確認

- 両面コピーで使用できる記録紙は、A4、A5、B5 サイズの普通紙のみです。
- 両面コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 【コピー】を押す

2 【+】/【ー】で部数を入力する

3 画面上の【設定変更】を押す

4 【両面コピー】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

5 原稿のとじ方を選ぶ

【印刷の向き：縦 長辺とじ／印刷の向き：横 長辺とじ／印刷の向き：縦 短辺とじ／印刷の向き：横 短辺とじ】から選びます。

6 原稿をセットして、【OK】を押す

原稿が両面の場合は、片面ずつ順に原稿台にセットしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

確認

- ADF を使用する場合は、あらかじめ両面コピーしたいすべての原稿をセットしてください（ただし 1 回にセットできるのは 15 枚までです）。2 枚目以降がセットされていないと、原稿読み取りが終了したと認識され両面コピーが開始されてしまいます。

7 ソートコピーをするときは、【スタック / ソート コピー】、【ソートコピー】を順に押す

8 モノクロでコピーするときは［モノクロスタート］を、カラーでコピーするときは［カラースタート］を押す

ADF に原稿をセットした場合：
操作は終了です。読み取りが開始されます。原稿 1 枚目を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、2 枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで記録紙に触れないでください。3 枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは記録紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合：
画面に【次のページをセットしてスキャンボタンを押してください　全てのページが終わったら完了ボタンを押してください／スキャン／完了】と表示されます。
⇒手順 9 へ

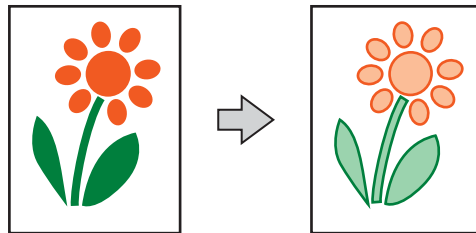
9 【スキャン】を押して次の原稿をセットし、【OK】を押す

手順 7 でソートコピーを選択した場合、3 枚目以降の原稿があるときは、手順 9 を繰り返します。すべての原稿を読み取ったら【完了】を押します。

> 両面コピーをすると紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときは、あんしん設定をお試しください。
> 手順 4 のあとで、【あんしん設定】を押して、【あんしん 1】または【あんしん 2】を選びます。
> 【あんしん 1】では、印刷速度を落とします。【あんしん 2】では、印刷速度を落とすのに加え、インク量を抑えます。そのため通常のコピーよりやや薄くなります。

インクを節約してコピーする

［インク節約モード］

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。

確認

- 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- インク節約モードでのコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

> 「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。
>
>

1 ［コピー］または【コピー】を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

> MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 モノクロでコピーするときは［モノクロスタート］を、カラーでコピーするときは［カラースタート］を押す

裏写りを軽減してコピーする

［裏写り除去コピー］

コピー時の裏写りを軽減します。

確認

- 裏写り除去コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

1 コピー または【コピー】を押す

2 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

ブックコピーする

［ブックコピー］

原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。

確認

- ブックコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。
- ADF を使用して、ブックコピーはできません。原稿台ガラスに原稿をセットしてください。(DCP-J740N のみ)

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

1 コピー または【コピー】を押す

2 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 【+】/【−】で部数を入力する

MFC モデルは、操作パネルのダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 画面上の【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

6 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

第７章

デジカメプリント（DCP-J740N、MFC-J710D/J710DW のみ）

デジカメプリント

写真をプリントする　デジカメプリント

確認

■ DCP モデルをお使いの場合は、動画のプリントができません。

インデックスシートをプリントする

［インデックスプリント］

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

確認

■ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

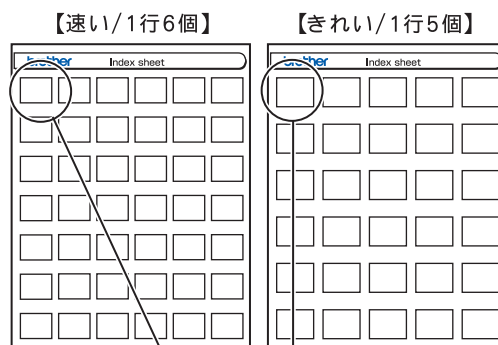
- MFC モデルの場合は、［デジカメプリント］を押してください。
- DCP モデルの場合は、［ホーム］または［停止 / 終了］を押して、待ち受け画面に戻り、【フォト】を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】、【インデックスシート】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 インデックスのタイプを選ぶ

【速い /1 行 6 個】【きれい /1 行 5 個】から選びます。

画面上の【設定変更】を押すと、記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてプリントするには」

4 ［スタート カラー］を押す

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。

インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。

プリントされるのは以下の形式の画像です。

- DCP-J740N の場合
  JPEG（.JPG）
- MFC-J710D/J710DW の場合
  JPEG（.JPG）、および MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）

番号を指定してプリントする

［番号指定プリント］

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

- MFC モデルの場合は、（デジカメプリント）を押してください。
- DCP モデルの場合は、（ホーム）または（停止 / 終了）を押して、待ち受け画面に戻り、【フォト】を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】、【番号指定プリント】の順に押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像の番号を入力し、【OK】を押す

例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき

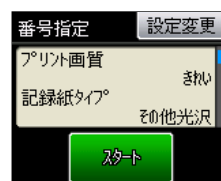
「1-5」と入力する

例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき

「1,3,5」と入力する

> 区切り記号も含めて 12 文字まで入力できます。

4 もう一度【OK】を押す

5 画面で設定を確認する

> 画面上の【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編「設定を変えてプリントするには」

6 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

画像がプリントされます。

お好みで設定する
電話
ファクス
電話帳
転送・リモコン機能
コピー
デジカメプリント
付録

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする

[すべてプリント]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

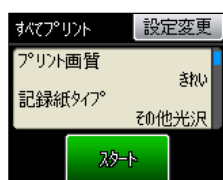
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたとき

- MFC モデルの場合は、［デジカメプリント］を押してください。
- DCP モデルの場合は、［ホーム］または［停止 / 終了］を押して、待ち受け画面に戻り、【フォト】を押してください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【すべてプリント】を押す

キーが表示されていないときは、【∨】/【∧】で、画面をスクロールさせます。

3 画面で設定を確認する

画面上の【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 「設定を変えてプリントするには」

4 ［モノクロスタート］または［スタートカラー］を押す

画像がプリントされます。

付録

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**

ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**

専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**

Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**

電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**

解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **原稿台ガラス**

コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**

ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッター**

ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**

ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**

Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**

ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**

1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

＝な＝

● **ナンバーディスプレイ**

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**

受信したファクスメッセージを、指定したファクス機に転送する機能です。

● **プリンタードライバー**

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポスターコピー**

1 枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**

受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**

記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リアルタイム送信**

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● **ログオン（ログイン）**

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● **2in1**

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● **4in1**

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

= A to Z =

● ADF（自動原稿送り装置）

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

索引

数字

I

P

あ

い

う

か

き

く

こ

し

す

そ

た

ち

つ

て

な